



広報

よなぐに

◇与那国町人口◇
 平成29年11月末現在
 世帯数：926世帯
 総人口：1,708人
 男：931人
 女：777人

平成29年
2017 No. 96

■表紙 火災訓練

- 与那国町制施行70周年記念式典 2~3
- まちのできごと 4~6
- 議会だより 7
- お知らせ 8~9
- ハビル館だより 10
- かんどうコラム 11
- クシテイの日 12

1981年(昭和56年)第1号発行 発行責任者 与那国町役場総務課財政課
 〒907-1801 沖縄県八重山郡与那国町宇与那国129番地
 Tel. 0980-87-2241 Fax. 0980-87-2079 <http://www.town.yonaguni.kinwajp/>



お手持ちのスマートフォンまたはタブレット端末からAR(拡張現実)アプリをダウンロードして「AR」のマークがある写真にかざすと、動画がご覧いただけます！



「Google Play」または「Apple Store」から「COCOAR2」と検索。バナーマークのアプリをダウンロードしてください。アプリを起動させ、画面の枠に写真をあわせると動画が流れます。
 ※視聴には別途「ネット通信料」がかかります。

年末年始のごみ収集について
 12月30日～1月3日の期間ごみ収集業務はお休みです。
 リサイクルセンターは12月31日～1月3日の期間お休みです。
 ※リサイクルセンターへのゴミ持ち込み受付時間は
 8：30～16：00までです。



動画で見れる！

AR 対応

平成 29 年 12 月 2 日

町制施行 70 周年記念式典



私たちのまち与那国町は、平成 29 年 12 月 1 日、町制施行 70 周年を迎えました。

1477年に朝鮮人が与那国島に漂着し、島の模様を記した資料から与那国島の歴史が伺い知ることができます。50年におよぶ日本の台湾統治は、終戦後も「密貿易」という形で継続し、島の繁栄と人口急増をもたらし、昭和 22 年（1947）、人口 5719 人で与那国町に昇格しました。

町政施行から、今日までを顧みますと、昭和 35 年の与那国製糖株式会社の設立や昭和 52 年の町内電話自動ダイヤル化は、町民生活向上に大きな影響を及ぼしました。また、同年、ベトナム難民が与那国島に漂着したことは、国境ならではの出来事と記憶に残っています。今年 1 月には、沖縄本島から海底光ケーブルが開通し、情報格差が解消される条件が整備されました。このことは、観光、教育、医療、福祉、防災等様々な分野で離島苦（しまちゃび）が解消され、移住者やUターン者が増え、島が活性化するものと期待している所です。

先人たちがたゆまぬ努力で築き上げられた文化・歴史を私たちは守り育み、子や孫と新たな時代へと引き継ぐことが努めです。町民の皆様と協働し、持続可能な住みよいまちづくりを目指し、町勢の振興発展に邁進いたします。

与那国町長 外間 守吉



町制施行70周年を記念しまして12月2日(土)、離島振興総合センターで70周年記念式典及び祝賀会を執り行いました。式典では、町に貢献した自治功労など73個人3団体が表彰され、受賞者代表として前楚良昌さんが「この賞に恥じないように、地域活性化、社会福祉の向上に一層の努力をしていきます」とあいさつしました。



【自治功労】

崎原 孫吉
我那覇 武
仲里 正明
崎元 恒男

【特別表彰】

崎原 永作

【町政功労(個人)】

前楚 良昌
金城 信浩
東小浜功尚
崎原 正吉
松村 嘉永
前粟藏捧明
比嘉 政成
後眞地吉雄
田島 政和
大嵩 長重
田本 秀紀

花城 榮起
(故)鳩間 一美
福仲 長正
大嵩 博彬
前黒島 任
東迎 高健
石底 一雄
玉城 精記
前粟藏 健
祖納元 精幸
安慶名 勝正

(故)仲嵩 博
(故)津波古 聡
(故)金城 勉
(故)後間 貞雄
(故)上原 正夫
(故)大城 常良
入田里 豊一
川田 一正
譜久嶺 眞永
神山 美恵
前外間 清予

外間 君子
外間メリヤ
玉城 好子
大仲 徹
田原 伊明
入慶田本たか子
(故)後間 啓升
三藏 徹
古見 武三
祖納元 武
玉城 孝

砂川オトミ
田頭 政英
山田 ヤス
前楚美津子
三藏 順子
東迎八四子
崎原 一子
米城 恵

【自治功労(団体)】

農業生産法人 与那国薬草園(株)
農業生産法人 (有)与那国農産
特別養護老人ホーム 月桃の里

【自治功労(町職員)】

松川 和枝
長濱 利典
前黒島勇市
西新田幸子
眞地 泰充
上原 光秀
西藏盛隆三

鈴木佳代子
松田 晃源
上原美枝子
前濱盛悦子
譜久嶺ひとみ
慶田嵩精三
前大舩和夫

伊盛 浩美
村本 浩利



❀ ま ち の で き ご と ❀

第25回日本最西端与那国島一周マラソン大会 - * - * - * - * - *



各コースの優勝者

- 25キロコース 男子
須藤 剛さん (東京都) 1:34:51
- 25キロコース 女子
石川 めぐみさん (石垣市) 1:57:03
- 10キロコース 男子
岡 恵登さん (沖縄市) 0:39:42
- 10キロコース 女子
原 聖子さん (与那国町) 0:46:39

11月11日(土)、第25回日本最西端与那国島一周マラソン大会が開催されました。今大会は、25キロコースに322人、10キロコースに314人の計636人がエントリーし、小雨まじりの強い風が吹くコンディションの中、沿道からたくさんの声援をうけ、537人のランナーが完走。大会終了後は、恒例のふれあいパーティーで、島内外のランナーたちが交流を深め、伝統芸能や島唄ライブを楽しみました。



シッティ(節祭) - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - *



11月8日(水)、日没とともに祖納・久部良・比川の各集落で魔物払いの行事「シッティ(節祭)」が行われ、ムヌンやカニン、フィの音とともに獅子舞が集落内を練り歩きました。シッティの最後は、浜に下り島から魔物が出ていくよう海に向かって祈願しました。

小学校で習う算数を使ってロボットを動かしてみよう！！ -*-*-*

11月10日（金）、教育委員会が運営する町営学習塾で小学校5・6年生を対象にロボットプログラミングを取り入れた算数の授業が行われました。授業は現役東大生がテレビ会議システムを利用し行われ、画面上の講師がプログラミングについて説明した後、子どもたちはタブレットを使いマット上のロボット（球体）操作に挑戦。ロボットがうまく動きだすと子どもたちは、歓声をあげ喜びました。同授業は、2020年からプログラミングが義務教育化されるのに先駆けて実施されました。



複式学級解消に向けて -*-*-*-*-*-*-*-*-*-*



11月14日（火）、ICT（情報通信技術）を活用し、久部良中と与那国中をつなぎ、大型スクリーンを通じた合同授業を実施しました。この日は両校の2年生（久部良中6人、与那国中11人）が計5グループに分かれて数学の授業を受けました。久部良中の生徒は「自分たちの学校では2グループしかできないが、合同授業では様々な案を聞くことで勉強になった」と話してくれました。複式学級解消を視野に入れたこの取り組みは、来年度、町内の3小学校でも実施する予定です。

離島フェア2017 与那国ブース大盛況！！ -*-*-*-*-*-*-*



県内にある18の離島市町村が集い、島の魅力や特産品を紹介する離島フェア2017が11月17日からの3日間、沖縄セルラーパーク那覇で開催。与那国からは、10の企業が出展。来場者が立ち寄りたくなるよう創意工夫された与那国のブースは大盛況でした。



会場特設ステージでは与那国町祖納青年会による芸能が披露され、迫力ある棒踊りで大勢の観客を魅了しました。

福祉と健康づくりの集い



11月23日(木)、与那国中学校で町民の健康増進を図るため「福祉と健康づくりの集い」が開催されました。予定されていたウォーキングやグラウンドでのプログラムは雨天のため中止となりました。健康運動士の久保寛子さんの指導のもと、体育館内で40分ほどの運動で、参加者たちはさわやかな汗を流しました。

金刀比羅祭

旧暦の10月10日の日に航海安全と豊漁を祈願する「金刀比羅祭」(与那国漁協主催)が11月27日、ナーマ浜にある金刀比羅神社で行われました。漁師や海事関係者らが参拝し、岩の上にある祠に手をあわせ祈願しました。祈願後、年間漁獲高優秀者3人が表彰されました。また、ナーマ浜にて久部良集落の子どもたちによる恒例の奉納相撲が行われ、土俵周りには応援する人々で賑わい、歓声が響きわたりました。最後に観衆の中から、親子対決を望む声が聴かれ、瑞宝丸船長の金城和司さんと息子の金城

元気さんが白熱の親子対決をみせ、見事、父に土をつけた元気さんの圧勝。この日一番の取り組みとなりました。

年間漁獲高優秀者は次のとおり

- 1位 金城和司 (瑞宝丸)
- 2位 川田一正 (智美丸)
- 3位 市成正博 (成宝丸)



飲酒運転は 絶対だめだよ わかるよね



12月19日(火) 年末年始の交通安全運動出発式が町役場前で行われました。外間守吉町長は、「忘年会・新年会とお酒を飲む機会が増えるこの時期、飲酒運転がない様、交通ルールの遵守に努めてほしい」とあいさつしました。飲酒運転撲滅連絡協議会の崎原孫吉会長が飲酒運転撲滅に向けて「飲むならのるな」など提唱し、参加者全員で復唱、飲酒運転根絶を宣言しました。

議会だより

12月11日から12月15日までの間、平成29年第5回与那国町議会（12月定例会）を開催。今議会で議決した議案は次のとおりです。

- 承認第3号 専決処分の承認を求めることについて
（平成29年度与那国町一般会計補正予算（第3号））
- 議案第48号 平成29年度与那国町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
20,450千円を増額し、歳入歳出予算の総額を150,955千円とする。
- 議案第49号 平成29年度与那国町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
485千円を増額し、歳入歳出予算の総額を350,707千円とする。
- 議案第50号 平成29年度与那国町漁業集落環境整備事業特別会計補正予算（第1号）
4,872千円を増額し、歳入歳出予算の総額を13,308千円とする。
- 議案第51号 平成29年度与那国町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
305千円を増額し、歳入歳出予算の総額を180,556千円とする。
- 議案第52号 平成29年度与那国町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）
3,857千円を増額し、歳入歳出予算の総額を38,456千円とする。
- 議案第53号 平成29年度与那国町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）
2,240千円を増額し、歳入歳出予算の総額を10,952千円とする。
- 議案第54号 平成29年度与那国町一般会計補正予算（第5号）
105,666千円を増額し、歳入歳出予算の総額を3,368,514千円とする。

豊かな発想で島の将来像を提言

県主催の2017年度沖縄離島体験交流促進事業の一環として、島内の小学校5年生21人が与那国町議会議場を訪れ、児童ら一人ひとりが町長や町議員らを前に堂々と発表、自分たちが思い描く島の将来像を提言しました。

与那国小学校の西條福之助さんは「水揚げ高は天候に左右され安定しないことから、餌にマイクロチップを埋め込み島の半径5キロ以遠にカジキがいかないよう島全体をいけすにする。」と「与那国島いけす計画」を提言。久部良小学校の後安里蓮樹さんは、「方言を話せる人、方言をよく知りたい!と思う人が減り、もっと多くの人に方言を知ってほしい、方言がずっと先まで残ってほしい」と「方言を気軽に学べる方言ドリル・方言レストランを作る」と提言しました。



AR

お知らせ

☆与那国町地域包括支援センター☆

どんなことをやってるの？

与那国町社会福祉協議会へ生活支援体制整備事業を委託しサロンの運営を行っています。

高齢者が気軽に集える場として、提供。目的は介護予防と見守り、社会参加！！

現在、コーディネーターやボランティアが中心になってサロンを開催し、いきいき100歳体操を中心に行い、その後はゆんたくしたり、カラオケをし楽しい時間を過ごしている。

【サロン開催日】
月・木 午後2：00～3：30

～花ゆりサロン～
(十山神社前)



10年後も楽しく過ごせるように今から介護予防をしましょう！！

与那国町社会福祉協議会 TEL 87-2471
 地域福祉推進員 稲蔵
 コーディネーター 前外間
 与那国町地域包括支援センター TEL 87-3575
 包括担当 砂川

農業集落排水への接続をお願い致します

各家庭が下水管に接続することで、地域の生活環境の改善が進み、集落排水事業の効果が現れます。農業集落排水事業区域は、すでに事業が完了し、各家庭接続可能な状況となっています。しかし、与那国町の宅内接続率は低い状況にあります。生活排水の垂れ流しは、農業用水を利用する方の迷惑になるほか、海や川の環境汚染となります。農業用水保全と農村環境向上のために早期接続をお願いします。町では、農業集落排水設備改造等資金の貸付けを行っております。

☆祖納地域のみなさんは、貸付終了

☆比川地域のみなさんは、平成30年3月まで

貸付け限度額：50万円 貸付け利子：無利子

償還期間：貸付けの翌月から6年とし、うち措置期間は1年。償還は毎月均等払いで、繰り上げ償還も可能。お気軽にご利用ください。

問合せ先：まちづくり課 ☎ 0980-87-3580

姉妹都市締結35周年記念事業 実行委員会からのお知らせ

姉妹都市締結35周年記念事業実行委員会では、平成30年1月19日から3～4日間の日程で姉妹都市花蓮市へ訪問し記念式典及び交流会の開催に向けて調整等を行っていましたが、チャーター便確保の調整がつかず、花蓮市訪問の日程を改めて調整することになりました。花蓮市訪問日程の目処がつき次第、ご案内いたします。あしからず、ご了承ください。

住宅の簡易診断を行います！！

昭和56年5月以前に着工された住宅の耐震化を促進するため、県では住宅の簡易な耐震性を診断する技術者を派遣しています。

診断費用：10,800円

募集件数：50件

問い合わせ：NPO 法人沖縄県建築設計サポートセンター
☎ 098-879-1020

ICT利活用による地域活性化とまちづくりの促進に関する連携協定を締結

与那国町と株式会社NTTドコモ(以下、ドコモ)は、ICTの利活用による地域活性化と将来にわたって活力のあるまちづくりを促進することを目的とした連携協定(以下、本協定)を2017年12月6日に締結しました。

本協定では、与那国町における地域の活性化と活力のあるまちづくりの促進に貢献するとともに、日本の離島における新たな地方創生モデルを構築し、与那国町の活動を全国に発信することを目的とした「ICT利活用検討ワーキング」(以下、本ワーキング)を発足します。本ワーキングでは、与那国町が抱える離島特有の地理的特性による経済面での不利な競争条件や、人口減少、担い手不足等の課題に対し、ICTを利活用した課題解決を推進していきます。

具体的なテーマは、「ICTを利活用した新たなまちづくりの推進」、「ICTを利活用した持続可能な新たな地域振興施策の推進」、「ICTを利活用した新たな国際交流施策の推進」の3つです。町民、企業、団体などが参加し、地域活性化と生活環境の充実に向けたICT整備計画を策定していきます。



取り組み期間

- (1) 連携協定締結期間
2017年12月6日～2020年12月5日
- (2) 「ICT利活用検討ワーキング」実施期間
2017年12月6日～2018年3月31日
※2017年4月より与那国観光アプリ
トライアル導入を実施中
※2018年2月に、関東圏で行われる予定の与那国物産展において、360度映像シアターの
トライアル展示を実施予定

「ICT利活用検討ワーキング」の参加者

<2017年12月6日時点>

- ・与那国町役場
- ・与那国町 教育委員会
- ・与那国町 幼稚園、小学校、中学校
- ・与那国町 観光協会
- ・与那国町 商工会
- ・与那国町 農業委員会
- ・JAおきなわ 与那国支店
- ・株式会社NTTドコモ

お問い合わせ先：総務財政課 企画班 ☎ 87-3577

農業委員会からのお知らせ

第16期与那国町農業委員及び第1期農地利用最適化推進委員を紹介します。

第16期与那国町農業委員			第1期農地利用最適化推進委員	
会長	小嶺 長詳		請外 姫代	東
会長職務代理者	安慶名 恵子	嶋中/久部良/比川	大嵩 聖吾	西
委員	宮良 正一	東	請花 万吉	嶋仲/久部良/比川
委員	大宜見 政彦	西		





【マルバネ塾と夜の観察会を開催！】

与那国島には珍しい生きもの達が数多くいますが、そのひとつに「種の保存法」という法律で「国内希少野生動植物種」に指定され、厳重に保護されているヨナグニマルバネクワガタがあります。アヤミハビル館ではヨナグニマルバネクワガタの展示をしていますが、さらに多くの人々にこの昆虫を知ってもらうため、11月3日に「マルバネ塾」と「夜の観察会」を開催しました。

マルバネ塾では、講師の九州大学教授の荒谷邦雄先生に島の生物多様性の豊かさやマルバネクワガタ類の基礎知識を講話していただき、受講者にマルバネクワガタ類などの標本を触って実物を体験してもらいました。夜の観察会では、イランダ線の展望台に虫を集めるための灯光器を設置して、その後2班に分かれて、ヨナグニマルバネクワガタがすんでいる木に成虫を探しに出かけました。風が強かったので灯光器に集まってきた虫は非常に少なかったです。しかし、暗闇の森の中で、懐中電灯の光を頼りに生息木を探すと、ついに成虫を1匹発見して皆で観察することが出来ました。参加者たちはこのクワガタムシの生きた成虫を見るとみな興奮しながら楽しそうに撮影し、発見の喜びを分かち合いました。

来年も様々な体験型のイベントを企画していきますので、本館のチラシをご覧になったら是非ご参加ください！



夜の観察会



マルバネの成虫

「よなかまクラブ」ツイッター
<https://twitter.com/yonakamaclub>
 (アヤミハビル館・専門員、杉本美華)



町役場 長寿福祉課

がんどっコラム

第15回



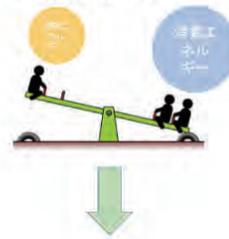
時間栄養学その1 「 朝食 を食べるとやせる」

栄養学は科学です。「太る」「やせる」は、エネルギー収支で説明がつかます。消費エネルギーより摂取エネルギーが多ければ太り、摂取エネルギーより消費エネルギーが多ければやせます。

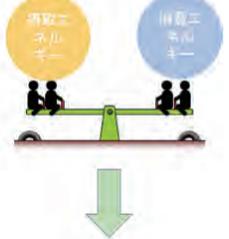
太るも痩せるも基本は同じ



太る



やせる



変化なし

いま、このエネルギー収支のうち、暮らし方、食べ方で消費エネルギーが変化することが分かってきました。これを『時間栄養学』と言います。今回から3回に渡ってこの『時間栄養学』に注目してコラムを連載したいと思います。

「時間栄養学その1」は朝食についてです。

【朝食を食べるとやせる】

朝食を食べることはからだを目覚めさせるスイッチになります。体温が上がり、基礎代謝が正常にまわり始めます。すなわち、朝食を食べることは「消費エネルギーが高くなる」ということです。朝食を食べないと体温は低いまま、眠っている状態が続きます。空腹時間が長いとエネルギー切れの状態なのでからだの筋肉を分解してエネルギーを産生し始めます。その分、昼食の際には血糖値が急上昇し、エネルギーの吸収が高まり脂肪を蓄積しやすくなります。筋力が低下し、脂肪が増える悪循環に繋がります。

【朝食ではこんなものを食べよう】

まずは、エネルギー源となる炭水化物を含む主食（ごはんやパンなど）を食べます。

さらに、卵や納豆などタンパク質を含む食品も一緒に摂りましょう。

タンパク質は14時間～16時間後に眠りのホルモンを正常に働かせるために必要です。

また、エネルギー代謝にはビタミン類も必要となりますので、野菜・果物・乳製品も摂れるとさらに良いですね。

朝、食事の準備時間が無いときは、前夜のうちに下準備しておいたり、すぐ食べられるもの（パン、チーズ、ミニトマト、野菜ジュースなど）を買っておいても良いですね。



【朝食が習慣になると】

朝食を食べる習慣が身についてくると、その時間に合わせて消化液が出るようになり、空腹感を感じられるようになります。自分のからだの変化を感じてください。

朝食をおいしく食べられるように、夜遅くに食べない、お酒を飲みすぎないといった夜の暮らし方も見直しましょう。遅くとも21時までには夕食は終わるように。



2017年 クシテイの日

12月10日(日)、第1回「クシテイの日」が構造改善センターで開催されました。東京にあるパクチー専門店「パクチーハウス東京」店長の牛田典子氏を招き、午前中にクシテイ料理教室、午後からはクシテイについての講演会が行われました。午前中は、食生活改善推進協議会、生活改善グループ、町内の旅館・飲食業者を対象に料理教室が行われ、クシテイを使用したタルタルソース「クシタルソース」やクシテイの天ぷら「クシ天」など15点ほどの料理が作られました。午後からは、クシテイ川柳の表彰式と講演会が行われました。「旬のクシテイで食育」をテーマに世界や日本でのパクチーの歴史や効能、また「パクチー」と「クシテイ」の違いなどについて講話があり、クシテイについての興味・関心が深まる内容でした。店長の牛田さんは「東京では、旬の強いパクチーは子どもには食べられないと親が敬遠してしまう場合が多い中、与那国島では子どもにも同じように食べさせ、また給食でも使われることに驚きました。」と与那国島でクシテイが愛されていること、また食のあり方に感心されていました。

講演会終了後、会場では試食会が開かれ、いつも食卓に並ぶ姿とは違うクシテイ料理に、来場者は、興味津々に口に運び試食会を楽しみました。

クシテイ川柳

クシテイの日にちなみ、11月15日～30日に町内の小中学校や店頭でクシテイ川柳を募集、集まった川柳は229点。この中から、クシテイ大賞、クシテイ賞、審査員特別賞の3点が選ばれました！！

「クシテイ大賞」

パクチーかな コリアンダーでしょ いやクシテイ 久部良小学校5年 安里 あまね

「クシテイ賞」

北風に 香るクシテイ 待ちわびて 久部良小学校4年 西泊 紡

「審査員特別賞」

おいしい においやばい でもうまい 与那国中学校1年 東崎原 永寿



試食会



講演会



表彰式